

# 社会資本総合整備計画（第4回変更）

みなとみらい21周辺地区都市再生整備計画事業

令和3年11月

神奈川県横浜市

社会資本総合整備計画（市街地整備）

令和2年3月25日

計画の名称	14 みなとみらい21周辺地区都市再生整備計画事業										重点配分対象の該当	○																																	
計画の期間	平成28年度～令和3年度（6年間）										交付対象	横浜市																																	
計画の目標	社会資本総合整備計画（第3回変更） 大目標 集約型の都市構造の転換とコンパクトな市街地形成を進め、更なる国際競争力の強化を図るため、市の中核である横浜都心を形成するエリアの都市機能を強化し、公共施設等の更なる整備による地域の一体化を推進する。 小目標① 最寄駅や、都市施設間のアクセス・回遊性の向上を図るための歩行者ネットワークの形成により都市機能を強化し、国際競争力のある拠点形成の一助とする。 小目標② 横浜駅周辺の治水安全度の向上を図る。 小目標③ 横浜駅周辺の高質な空間づくりを図る。																																												
計画の成果目標（定量的指標）	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ペDESTリアンデッキの整備により、最寄駅からの歩行者空間を確保し、安全で快適な歩行者ネットワークを形成する。</li> <li>・就業者や来街者、観光客が安心して過ごす環境を整備するため、横浜駅周辺地区の治水安全度の向上を図る。</li> <li>・横浜駅周辺の快適な歩行と滞留のできる空間形成を行う。</li> </ul>																																												
定量的指標の定義及び算定式	<table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="3"></th> <th colspan="3">定量的指標の現況値及び目標値</th> <th rowspan="3">備考</th> </tr> <tr> <th>当初現況値 (H28当初)</th> <th>中間目標値</th> <th>最終目標値 (R3末)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>・歩行者ネットワークの形成（歩行者安全水準の向上） 桜木町駅から北仲通地区への歩行者交通量（ピーク時予測値）に対する減少</td> <td>53.73人/m・分</td> <td></td> <td>27人/m・分</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・治水安全度の向上 鶴屋橋の架替えによる帷子川分水路の流量の増加</td> <td>260m3/s</td> <td></td> <td>350m3/s</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・地下通路接続による西口駅前地上部の混雑緩和</td> <td>530,100人/日</td> <td></td> <td>423,300人/日</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・横浜駅中央西口駅前広場内の歩行及び滞留空間の拡充</td> <td>97人/m<sup>2</sup>・日</td> <td></td> <td>75人/m<sup>2</sup>・日</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・横浜駅きた西口から鶴屋町方面への歩行者安全水準の向上</td> <td>46.68人/m<sup>2</sup>・分</td> <td></td> <td>20人/m<sup>2</sup>・分</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>													定量的指標の現況値及び目標値			備考	当初現況値 (H28当初)	中間目標値	最終目標値 (R3末)	・歩行者ネットワークの形成（歩行者安全水準の向上） 桜木町駅から北仲通地区への歩行者交通量（ピーク時予測値）に対する減少	53.73人/m・分		27人/m・分		・治水安全度の向上 鶴屋橋の架替えによる帷子川分水路の流量の増加	260m3/s		350m3/s		・地下通路接続による西口駅前地上部の混雑緩和	530,100人/日		423,300人/日		・横浜駅中央西口駅前広場内の歩行及び滞留空間の拡充	97人/m <sup>2</sup> ・日		75人/m <sup>2</sup> ・日		・横浜駅きた西口から鶴屋町方面への歩行者安全水準の向上	46.68人/m <sup>2</sup> ・分		20人/m <sup>2</sup> ・分	
	定量的指標の現況値及び目標値			備考																																									
	当初現況値 (H28当初)	中間目標値	最終目標値 (R3末)																																										
	・歩行者ネットワークの形成（歩行者安全水準の向上） 桜木町駅から北仲通地区への歩行者交通量（ピーク時予測値）に対する減少	53.73人/m・分			27人/m・分																																								
・治水安全度の向上 鶴屋橋の架替えによる帷子川分水路の流量の増加	260m3/s		350m3/s																																										
・地下通路接続による西口駅前地上部の混雑緩和	530,100人/日		423,300人/日																																										
・横浜駅中央西口駅前広場内の歩行及び滞留空間の拡充	97人/m <sup>2</sup> ・日		75人/m <sup>2</sup> ・日																																										
・横浜駅きた西口から鶴屋町方面への歩行者安全水準の向上	46.68人/m <sup>2</sup> ・分		20人/m <sup>2</sup> ・分																																										
全体事業費	合計 (A+B+C+D)	8,799.80百万円	A	8,799.8百万円	B	0百万円	C	0百万円	D	0百万円	効果促進事業費の割合 C / (A+B+C+D)	0.0%																																	
交付対象事業																																													
A 基幹事業																																													
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市町村名	事業実施期間（年度）						全体事業費 (百万円)	費用便益比	個別施設計画 策定状況	備考																											
14-A-1	都市再生	一般	横浜市	直接	横浜市	みなとみらい21周辺地区都市再生整備計画事業	道路・地域生活基盤施設等 122ha	横浜市	H28	H29	H30	H31	R2	R3	8,799.8	-	-																												
									合計						8,799.8																														
B 関連社会資本整備事業（該当なし）																																													
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	要素となる事業名	事業内容 (延長・面積等)	市町村名	事業実施期間（年度）						全体事業費 (百万円)	費用便益比	個別施設計画 策定状況	備考																											
									合計						0																														
C 効果促進事業																																													
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	要素となる事業名	事業内容	市町村名 港湾・地区名	事業実施期間（年度）						全体事業費 (百万円)	備考																													
C-1	活動支援								H28	H29	H30	H31	R2	R3																															
									合計																																				
番号	一体的に実施することにより期待される効果											備考																																	
C-1																																													
D 社会資本整備円滑化地籍整備事業																																													
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (面積等)	市町村名	事業実施期間（年度）						全体事業費 (百万円)	備考																													
									合計																																				
番号	一体的に実施することにより期待される効果											備考																																	

交付金の執行状況

(単位:百万円)

	H28	H29	H30	H31	R2	R3
配分額 (a)	60	185	561	1,283	1,000	439
計画別流用 増△減額 (b)	0	0	0	0	0	0
交付額 (c=a+b)	60	185	561	1,283	1,000	439
前年度からの繰越額 (d)	0	22	124	279	934	430
支払済額 (e)	38	75	406	628	1,504	434
翌年度繰越額 (f)	22	124	279	934	430	435
うち未契約繰越額 (g)	0	52	0	489	47	341
不用額 (h = c+d-e-f)	0	8	0	0	0	0
未契約繰越＋不用率 (h = (g+h)/(c+d))	0	28.98%	0	31.3%	2.43%	39.2%
未契約繰越＋不用率が10%を超えている 場合その理由		河川管理者等 との調整に不 測の日時を要 したため		関係者との調 整に時間を要 し、計画変更 が生じたため		鉄道事業者と の調整に不測 の時間を要し たため

(参考様式3) 市街地整備

計画の名称	14 みなとみらい21周辺地区都市再生整備計画	交付対象	横浜市
計画の期間	平成28年度～令和3年度(6年間)		
社会資本総合整備計画(第3回変更)			

